

(様式1ー表)

## 令和5年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書(案)

学校番号	48	豊田市立 広川台小 学校	代表	鈴木 俊彦
------	----	--------------	----	-------

※分野【a:国際交流・国際理解、b:地域連携、c:自然体験、d:環境教育、e:学力向上、f:交流体験、g:福祉・ボランティア、h:伝統文化、i:その他( )】から選ぶ。

テーマ	共に学び 共に体験する 健康安全教育	分野	i	その他
	サブテーマ	～生涯を通して健康で安全な生活を送れる子どもの育成を目指して～	i(その他)は分野を右欄に記入	健康安全
学校づくりの視点(ねらい)	<p>本校児童が伸び伸びと成長し、生き生きと真剣に学習活動に励むことができる学校づくりを目指す。そのためには計画的恒常的に整備された学校環境の中で、心身ともに健康な状態で活動できなければならない。学校教育を、生涯を通して健康で安全な生活を送るための基礎を培う場と捉え、次の3点を具現化する。</p> <p>①心の相談員と校内整備員を配置すること、本校児童の心の健康を保つとともに、より安全で学習しやすい環境を整える。</p> <p>②家庭や地域と連携しながら「食」や「姿勢」に関する実践的な学習を通して、望ましい健康習慣の形成を図る。</p> <p>③発達段階に応じた基礎的な身体能力を身に付ける「体づくり運動」を充実することで、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。</p>			
活動内容・計画	<p>①定期的に心の相談員を配置し、子どもたちが抱えている悩みを気軽に相談できる環境を整える。</p> <p>・「心の相談室だより」等の発行を通して、事前に相談日を知らせ、子どもや家庭とのつながりを保つ。</p> <p>②校内整備員による活動を通し、子どもたちが安全で安心して過ごせる学習環境を構築する。</p> <p>・樹木や花壇等の校内環境整備を通して、環境を整えることの大切さを意識づける。</p> <p>・危険個所の早期発見、早期対応を通して子どもたちの安全に対する意識を高める。</p> <p>③保健委員会が中心となり、健康を考えた食育や体幹を鍛える姿勢エクササイズの実践を行う。</p> <p>・学校保健委員会や保健集会を通して、全校児童に好ましい食生活や体に負担のない姿勢の大切さを啓発する。</p> <p>④年間を通して、体育の学習や休み時間に「体づくり運動」を行う。</p> <p>・週1回、休み時間にある運動器具を使って遊ぶ「バウフルタイム」を設け、全校児童が外遊びや運動に親しむ機会をつくる。</p> <p>・体育の学習のなかで体力づくり講師による指導を取り入れ、様々な体の基本的な動きを培う。</p>			
補助員配置	<p>○心の相談員 週あたり12時間 年32週</p> <p>○校内整備員 週あたり16時間 年32週</p>			
実績・期待される効果	<p>①心の相談員を配置することで、子どもたちの抱えている悩みやストレスを解消し、心身ともに健康な学校生活が送れるようになる。</p> <p>②校内整備員を配置することにより、学校環境を整えることの大切さを学び、日常における清掃活動や奉仕活動をより積極的に取り組もうとする意識が高まる。</p> <p>③食育や姿勢づくりの実践を通して、バランスのとれた食事や体に負担のない姿勢の大切さを知り、家庭での食生活や姿勢に対する意識が高まる。</p> <p>④いろいろな運動をバランスよく行うことで、体力を高めながら体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができ、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力が育つ。</p>			
検証方法	<p>①学校だより・ホームページやPTA総会で学校としての取組の主旨を提示し、その実践内容を保護者アンケートで検証する。</p> <p>②学校公開で食育や体力づくりの授業を公開し、保護者からの感想や意見をいただく。</p> <p>③学校アドバイザー会議、防災・防犯連絡協議会等で地域からの意見をいただく。</p>			